

証券コード:6941

## ■グループ経営理念

山一電機グループは、人・企業・社会・地球とのより良い結びつきを柔軟な技術力と発想力をもって意欲的に創造する「もっとしなやかにベターコネクション」をコーポレートスローガンに、お客様の価値創出に貢献します。

#### 1. 人の尊重

人を育て、人を活かし、会 社の発展と個人の幸せの 共有を目指します。

#### 2. 企業価値の最大化

株主をはじめとしたステークホルダーの要請に応え、 適正利潤を追求し、企業価値の最大化を目指します。

## 3. 企業品質の向上

信頼の最大の基盤である 優れた製品品質と企業品 質を提供することによっ て、顧客の満足を図ります。

## 4. 技術立社への挑戦

開発型企業として、たゆまず技術の創造と革新に挑戦し、半歩先をゆく技術を 提供します。

## 5. 社会的役割の達成

常に社会との調和を図り、 社会から信頼される企業 であり続けます。

#### 経営方針(第63期~第65期)

# **◆** 「お客様が満足いただける製品・サービスを提供できる会社」に成長する →

#### 成長戦略

#### 技術力の強化によるグローバルニッチTOP製品の創出

- 伸びる地域・伸びる市場・元気な顧客・儲かる製品
- ユニークな製品、差別化した製品の開発

#### テストソリューション事業

- 新技術開発による販売拡大
- 新市場・新規顧客開拓による販売拡大
- グローバル連携強化による 顧客サービスの向上

#### コネクタソリューション事業

- グローバルニッチTOP製品 の創出
- IoTを視野に入れて通信・ 車載・産機・医療の4市場 向け製品の拡充

#### **光間**連車業

- 顧客の開発段階からの ソリューション提案力強化
- 戦略的な新規開拓活動推進

#### 構造改革

## グループの効率化を更に追求

- グローバル管理体制の強化
- グローバルのモノづくりの 効率化推進
- グローバルシステムの強化

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のことと 拝察申し上げます。平成29年度(第63期・平成29年4月 1日から平成30年3月31日まで)の事業の概況をお届けし、 ご報告申し上げます。



#### 代表取締役社長

## 太田 佳孝

当連結会計年度の世界経済は、米国や欧州では設備投資の拡大や雇用情勢の改善、個人消費の増加を背景に堅調さを維持し、わが国経済においても企業業績や雇用・所得環境の改善などにより、緩やかな回復基調が続きました。

当社グループが注力するエレクトロニクス市場は、クラウドサービスの増大により半導体の需要が好調に推移したことや、自動車の高機能化に伴う需要拡大等により、好調に推移いたしました。

このような状況の下、当社グループは3ヵ年中期経営計画 (平成30年3月期~平成32年3月期)をスタートさせ、経営 基盤の強化と収益の拡大を図ってまいりました。

その結果、当連結会計年度の業績は、売上高30,340百万円 (前年同期比14.5%増)、営業利益4,307百万円(前年同期比 58.7%増)、経常利益4,292百万円(前年同期比67.6%増)、 親会社株主に帰属する当期純利益3,367百万円(前年同期比 61.1%増)となりました。 次期の見通しにつきましては、当社グループが注力するエレクトロニクス市場においては、IoTやAIの広がり、次世代通信インフラやデータセンター投資の拡大、スマートフォンや自動車の高機能化の進展等に向けた半導体や電子部品の需要拡大が見込まれております。

このような状況において、平成29年度を初年度とする3ヵ年の山一電機グループ中期経営計画(平成30年3月期~平成32年3月期)を策定し、「お客様が満足いただける製品・サービスを提供できる会社」に成長することを引き続き目指すこととし、この経営目標の達成にあたり「グローバルに連携し、未来につながる製品の創造」という観点から取り組んでまいります。戦略としては、「成長戦略」と「構造改革」を核に推進し、お客様のニーズに応えられる企業に成長するとともに、より一層の財務体質の強化と将来の成長に向けた経営基盤の強化を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともますますのご支援 とご鞭撻を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

## ■ 連結業績ハイライト









# テストソリューション事業

検査用ICソケット、プローブカード、FPC検査用ソケット、半導体テストサービス

売上高構成比 48.0%



#### メモリ用バーンインソケットの開発

2017年に急成長した半導体メモリ、その検査工程で使用 されるソケットについて新製品開発に合わせて新機構の バーンインソケットを開発しております。当社では長年に 渡り蓄積した各分野の技術力で、部品点数削減を実現し た新機構のソケットを開発いたしました。今後もお客様の ニーズにお応えする技術開発に取り組み、最適なテスト ソリューションを提供してまいります。



## コネクタソリューション事業

コネクタ、実装用ICソケット、フレキシブルプリント配線板(YFLEX®)

売上高構成比 46.6%



#### 次世代データセンター向け光通信モジュール用コネクタを開発

データセンター市場は、クラウドサービスの利用拡大に 加え、AI (人工知能やディープラーニングなど) および IoT (Internet of Things) といった新しいニーズにより データ通信量の増加が見込まれております。

当社は、成長が見込まれるデータセンター市場向けに 次世代高速伝送規格に対応したコネクタを開発いたし ました。



(QSFP-DD)

#### 光関連事業

RGBフィルタ、蛍光ダイクロイックフィルタ、ショート/ロングパスフィルタ、半導体レーザ光源

売上高構成比 5.4%



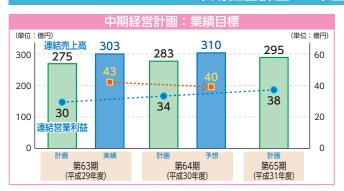
#### デジタルコヒーレント光通信用ミラー、偏光ビームスプリッタを製品化

スマートフォンやデータセンターを繋ぐ大容量ネットワーク のバックボーンとして、デジタルコヒーレント光通信システ ムが採用されております。その主要コンポーネントであるデ ジタルコヒーレント光トランシーバには、複雑な光の偏光状 態を高精度で制御するミラーや偏光ビームスプリッタが不 可欠になっております。光関連部門では、この光トランシー バに要求される様々な機能を備えた高品質なミラーと偏光 ビームスプリッタを開発し製品化いたしました。



# 中期経営計画(第63期~第65期)進捗のご報告 「お客様が満足いただける製品・サービスを提供できる会社」に成長する

#### ・・・ 中期経営計画の1年目が順調にスタート ・・・



「お客様が満足いただける製品・サービスを提供できる会社」に成長することを経営方針とし、「グローバルに連携し、未来につながる製品の創造」という観点から平成29年度に策定した中期経営計画(第63期~第65期)の1年目が順調にスタートしました。

『成長戦略』と『構造改革』を核とした基本戦略を引き 続き推進し、お客様のニーズに応えられる企業に成長す るとともに、より一層の財務体質の強化と将来の成長に 向けた経営基盤の強化を図ってまいります。

●業績目標	
連結売上高	853億円/3ヵ年累計額
連結営業利益	102億円以上/3ヵ年累計額

	中期計画目標値
●ROE	10%以上
●配当	連結配当性向30%
●設備投資	70億円/3ヵ年累計額



平成29年度実績 16.7% 23.1% 20.3億円

#### ◇ 基本戦略

- I. 成長戦略:グローバルニッチTOP製品の創出
  - ・「伸びる地域・伸びる市場・元気な顧客・儲かる製品」
  - ・「ユニークな製品、差別化した製品の開発」
- Ⅱ. 構造改革:グループの効率化を更に追求
  - ・グローバル管理体制の強化
  - ・グローバルのモノづくりの効率化推進
  - グローバルシステムの強化

## 新任取締役のご紹介



取締役 ましむら のぶひる **岩村 伸洋** 

昭和63年11月 当社入社

平成16年2月 当社第二営業部長

平成25年 4 月 当社テストソリューション 事業推進グループ長 (現任) 当社テストソリューション

営業部長

平成25年6月 当社テストソリューション

事業部長代理 (現任)

平成26年4月当社執行役員平成30年6月当社取締役兼

) 当社政神技 兼 上席執行役員(現任)



取締役 たくまましょういちろう ト久間 陽一郎

昭和55年4月日東電気工業株式会社 (現日東電工株式会社) 入社

平成18年6月 同社執行役員

平成22年 6 月 同社取締役 執行役員

平成25年6月 同社取締役 常務執行役員

平成29年6月同社退社

平成30年6月 当社社外取締役 (現任)

#### ■連結貸借対照表

(単位:百万円)

		(単位:白万円)
科 目	<b>当期</b> (平成30年3月31日現在)	<b>前期</b> (平成29年3月31日現在)
資 産 の 部		
流動資産	18,298	15,404
現金及び預金	7,188	5,729
受取手形及び売掛金	5,799	4,802
たな卸資産	3,466	3,439
その他	1,844	1,433
固定資産	12,606	12,486
有形固定資産	9,751	9,970
無形固定資産	121	99
投資その他の資産	2,733	2,415
繰延資産	1	2
資産合計	30,906	27,892
負 債 の 部		
流動負債	6,863	7,533
支払手形及び買掛金	1,675	1,868
短期借入金	2,435	3,567
その他	2,751	2,096
固定負債	1,857	1,877
社債	22	57
長期借入金	918	737
その他	917	1,082
負債合計	8,721	9,410
純 資 産 の 部		
株主資本	22,254	18,668
資本金	10,084	10,047
資本剰余金	1,814	1,586
利益剰余金	10,961	8,138
自己株式	△ 605	△ 1,103
その他の包括利益累計額	△ 232	△ 330
新株予約権	51	10
非支配株主持分	112	134
純資産合計	22,185	18,482
負債純資産合計	30,906	27,892

#### ■連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	<b>当期</b> (自平成29年4月1日) 至平成30年3月31日)	前期 (自平成28年4月1日) 至平成29年3月31日)
売上高	30,340	26,494
売上原価	19,816	18,192
売上総利益	10,523	8,302
販売費及び一般管理費	6,215	5,587
営業利益	4,307	2,714
営業外収益	111	104
営業外費用	126	257
経常利益	4,292	2,561
特別利益	88	52
特別損失	330	6
税金等調整前当期純利益	4,051	2,608
法人税、住民税及び事業税	868	422
法人税等調整額	△ 186	96
当期純利益	3,369	2,089
非支配株主に帰属する当期純利益	1	△ 0
親会社株主に帰属する当期純利益	3,367	2,089

## ■連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	<b>当期</b> (自平成29年4月1日) 至平成30年3月31日)	前期 (自平成28年4月1日) 至平成29年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,210	3,468
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,468	△ 1,296
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,193	△ 661
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 83	12
現金及び現金同等物の増減額	1,465	1,523
現金及び現金同等物の期首残高	5,723	4,199
現金及び現金同等物の期末残高	7,188	5,723

#### - 会社の概要 (平成30年3月31日現在)

商 号 山一電機株式会社

所 在 地 東京都大田区南蒲田2丁目16番2号

設 立 昭和31年11月

資 本 金 100億8,410万円

従業員数 358名 (連結 1,502名)

主な事業内容 1. テストソリューション事業

2. コネクタソリューション事業

3. 光関連事業

#### 株式の状況 (平成30年3月31日現在)

発行可能株式総数60,000,000株発行済株式総数23,329,775株株主数7,804名単元株式数100株

大株主

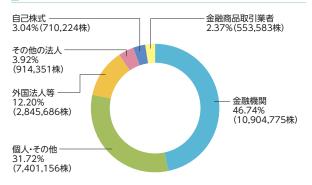
2 3 10 2		
株 主 名	持株数	持株比率
	株	%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	5,435,600	24.03
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,454,400	6.42
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505019	765,700	3.38
資産管理サービス信託銀行株式会社 (証券投資信託口)	622,900	2.75
株式会社三井住友銀行	619,300	2.73
山一電機取引先持株会	609,900	2.69
MSCO CUSTOMER SECURITIES	450,846	1.99
日本生命保険相互会社	421,075	1.86
資産管理サービス信託銀行株式会社 (年金信託口)	409,000	1.80
山一電機従業員持株会	367,888	1.62

<sup>(</sup>注) 1. 当社は、自己株式を710,224株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

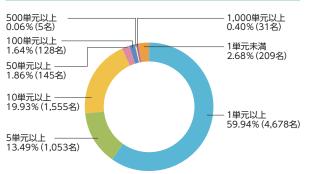
## **役員** (平成30年6月27日現在)

代表取締役社長 太 田 佳 孝 勝 常勤監査役 加 藤 市 役 土 屋 武 社外監査役 多  $\blacksquare$ 郁 夫 取 取 役 亀 谷 淳 一 社外監査役 吉 澤 壽美雄 取 役 松  $\blacksquare$ 弘 村 伸 洋 取 役 岸 社外取締役 楠 美 憲 章 社外取締役 村  $\blacksquare$ 朋 社外取締役 佐久間 陽一郎

#### **所有者別株式数分布状況** (平成30年3月31日現在)



# **前有株数別株主数分布状況** (平成30年3月31日現在)



<sup>2.</sup> 持株比率は自己株式710,224株を控除して計算しております。

# 

事 業 年 度	4月1日~翌年3月31日	
期末配当金受領株主確 定 日	3月31日	
中間配当金受領株主確 定 日	9月30日	
定時株主総会	毎年6月	
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社	
特別口座の口座管理機関	一二変UFJICat載1   休式云化	
同連絡先(注)	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電 話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部	
上場証券取引所	東京証券取引所(市場第1部:証券コード6941)	
公 告 の 方 法	電子公告により行う (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを 得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。)	

(注) 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関の事務拠点の移転に伴い、平成29 年8月14日付にて上記のとおり変更しております。

#### 【お知らせ】

- (1) 株主様の住所変更、買取請求、配当金の振込指定その他各種お手続きにつきま しては、原則、□座を開設されている□座管理機関(証券会社等)で承ることとなっ ております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿 管理人 (三菱UFJ信託銀行) ではお取扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信 託銀行が□座管理機関となっておりますので、左記特別□座の□座管理機関(三菱 UFJ信託銀行) にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店にて もお取次ぎいたします。
- (3) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## 株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、 アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、 アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に 表示されるアンケートサイトにてご回答ください。 所要時間は5分程度です。



http://www.e-kabunushi.com アクセスコード 6941

いいかぶ

検索



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。 (タイトル、本文は無記入) アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に

到着してから約2ヶ月間です。 ご回答いただいた方の中から 抽選で薄謝(図書カード500円) を進呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する 「e-株主リサーチ | サービスにより実施いたします。

(株式会社 a2mediaについての詳細http://www.a2media.co.ip) ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただき、事前の承諾なしにこ れ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ TEL:03-5777-3900 「e-株主リサーチ事務局」 (平日 10:00~17:30) MAIL:info@e-kabunushi.com

## IRサイトのご案内

当社では、Web上で「投資家情報」として次のような情報を公開していま す。今後も、「株主のみなさまへ」の情報開示の内容を充実し、迅速に開示 を行っていく所存です。

Web上で ご覧いただける 投資家情報

- IRカレンダー 有価証券報告書
- 決算短信 株主総会
- 株主のみなさまへ。株主優待制度

http://www.yamaichi.co.jp/ir/tabid/87/Default.aspx

# -雷機株式会社

〒144-8581 東京都大田区南蒲田2丁目16番2号 テクノポート三井生命ビル 圓03-3734-0115 (代表) 圆03-3734-0120 ホームページアドレス http://www.yamaichi.co.jp



見やすいユニバーサルデザイン フォントを採用しています。



